

福岡県米麦大豆生産改善速報 第3号

令和3年7月30日
福岡県
福岡県米麦品質改善協会

普通期水稻の生育概況と対策

1. 気象経過 [太宰府アメダス]

	7月15日～7月26日 (12日間)				
	平均気温	最高気温	最低気温	日照時間	降水量
	℃	℃	℃	hr	mm
本年	28.3	33.9	24.1	86	26
前年差(比)	+2.9	+3.9	+1.5	279%	17%
平年差(比)	+0.9	+1.9	±0.0	135%	23%

注) 平年は1991～2020年の太宰府アメダスの平均値。

2. 農林業総合試験場における生育概況

7月15～26日の平均気温は平年より0.9℃高く、降水量は77%少なく、高温少雨で経過した。7月26日現在における水稻の生育は、草丈は6月10日植の「夢つくし」では平年並み、その他の品種は5～14%長かった。茎数は、6月10日植の「夢つくし」では平年より4%多く、その他の品種は平年並～11%少なかった。主稈葉数は、「夢つくし」では平年並み、その他の品種では0.6～0.8葉多く、生育は進んでいる。

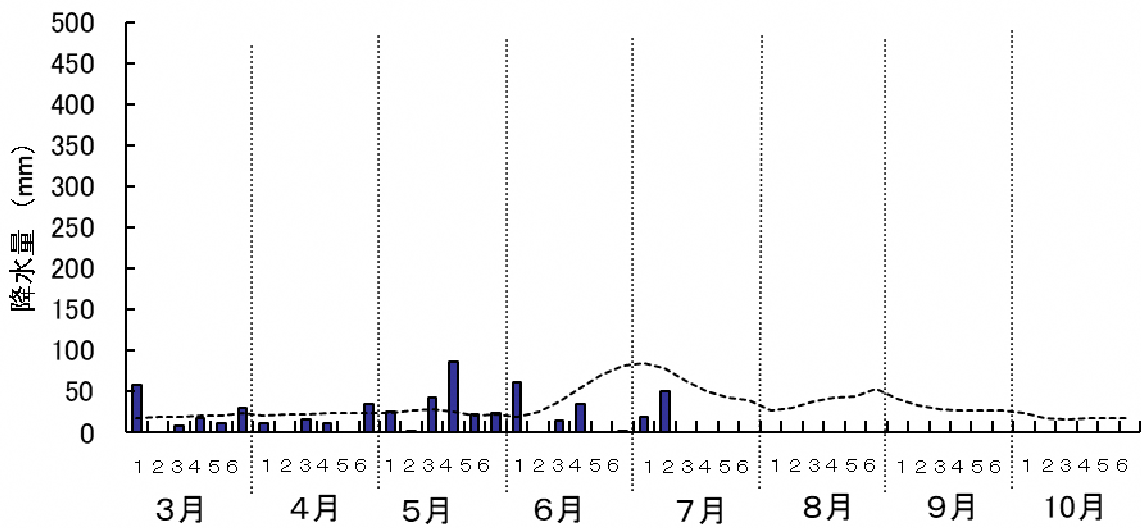
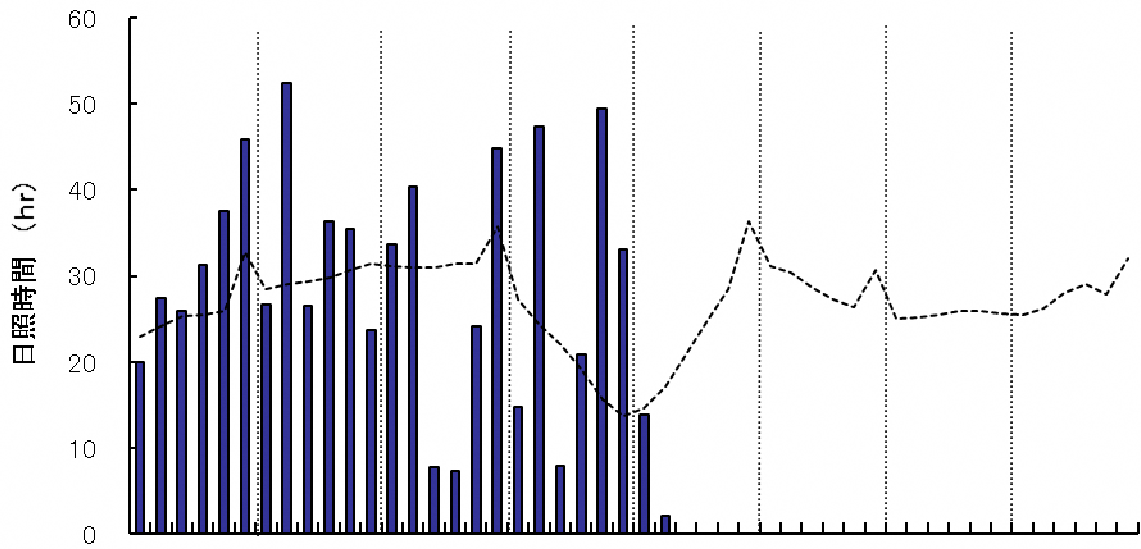
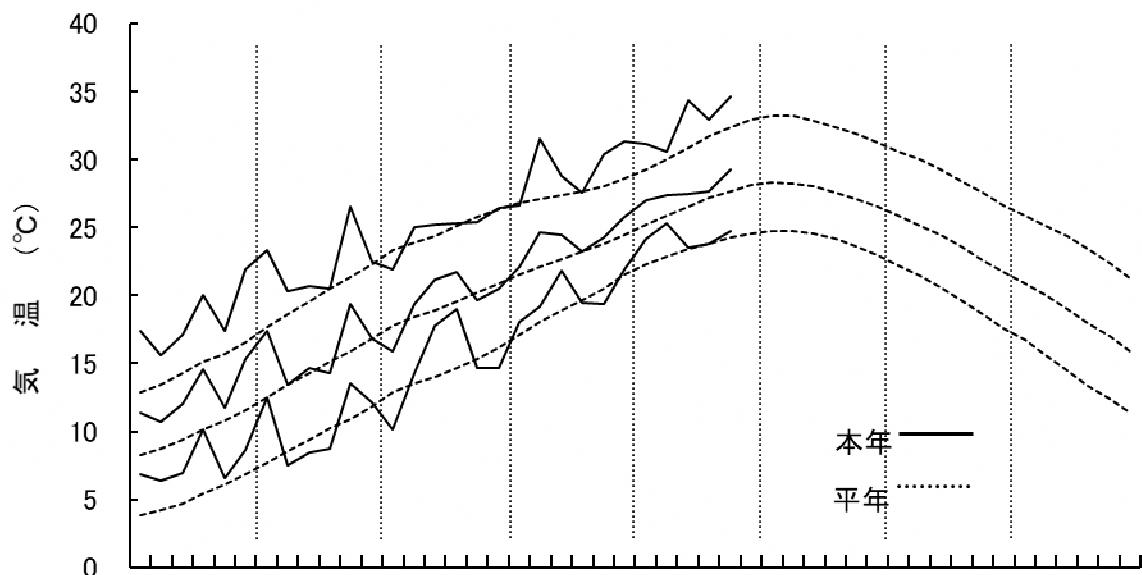
3. 当面の対策

- 1) 水 管 理 中晩生品種で中干しを実施していない場合は、有効茎が確保され次第、中干しを開始する。中干しは、田面に小さい亀裂ができる程度とする。中干し終了後は間断かん水を行い、根の活力維持に努める。
幼穂形成期～開花期は、水を最も必要とする時期であるため、水を切らさないよう十分かん水を行う。
- 2) 施 肥 出穂期は早いと予想されるため、穂肥は幼穂長や葉色を確認して適期に施用する。
- 3) 病害虫管理 いもち病、ウンカ等の対策は、予察情報を参考に適期に行う。カメムシ対策として、畦畔の草刈りは出穂10日前までに実施する。

4. 農林業総合試験場における調査成績

調査場所	移植期	品種	年次	7月15日			7月26日					
				草丈	m ² 当たり	主稈	草丈	m ² 当たり	主稈	カー	葉緑	
				(cm)	茎数 (本)	葉数 (L)	(cm)	茎数 (本)	葉数 (L)	スケール	素計	
農産部	6/10	夢つくし	本年	68	402	9.9	73	432	11.4	3.5	33.4	
			前年比(差)	112	92	0.5	109	124	0.4	-0.5	-10.2	
			平年比(差)	109	90	-0.2	99	104	-0.2	-0.4	-6.0	
	6/18	元気つくし	本年	62	311	9.5	69	401	11.1	3.4	32.4	
			前年比(差)	120	111	+2.1	107	92	+1.5	-0.2	-7.0	
			平年比(差)	136	101	+1.2	105	99	+0.8	-0.4	-6.8	
6/18	ヒノヒカリ	本年	52	329	9.4	62	439	10.8	3.5	32.9		
		前年比(差)	125	130	+1.8	107	93	+1.2	-0.5	-10.0		
		平年比(差)	135	103	+1.0	111	96	+0.6	-0.4	-7.0		
筑後分場	6/18	元気つくし	本年	64	444	9.6	78	479	11.3	4.0	39.0	
			前年比(差)	124	128	+1.9	110	91	+1.0	-0.1	-6.0	
			平年比(差)	142	114	+1.3	114	91	+0.7	+0.2	-4.1	
		6/18	ヒノヒカリ	本年	56	518	9.7	70	538	11.1	3.9	37.5
				前年比(差)	130	143	+1.9	109	87	+0.8	-0.3	-6.6
				平年比(差)	144	123	+1.3	113	89	+0.6	-0.1	-5.2
	6/18	実りつくし	本年	60	445	9.4	73	525	11.4	3.7	33.5	
			前年比(差)	117	130	+1.8	108	86	+1.0	-0.2	-6.7	
			前6年比(差)	129	120	+1.2	107	90	+0.6	-0.1	-6.1	

注) ①平年値は過去10か年の平均値。
 ②この値は暫定値で、今後変更することがある。



2021年(令和3年)夏作期間の気象(太宰府アメダス)